

2024 年 9 月

Y M C A のびのびクラブ鍛冶町 5 領域を踏まえたプログラム

①健康・生活

- ・衣服の調節、室温の調節や換気等を通じて、病気の予防や安全への配慮を行う。
- ・調理（昼食やおかし作り）などを通じた食育を行う。
- ・時間に応じた行動の切り替えを行う。
- ・構造化を意識した掲示物を活用する。

②運動・感覚

- ・体操やダンス、運動遊びまたはゲーム等を通じて、運動療育を行う。
- ・視覚や聴覚、触覚を刺激するようなゲームを行う。

③認知・行動

- ・数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための遊びや学習を行う（目と手または足の協調動作）。

④言語・コミュニケーション

- ・グループ活動を通じたコミュニケーション能力の向上を目指す。
- ・ロールプレイを通して自分や相手、その場の状況について考える。
- ・ゲームを通じて、指差しや身振りなどを用いた意思伝達ができるように支援する。

⑤人間関係・社会性

- ・感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。
- ・大人を介して自分の気持ちや情動の調整ができるように支援する。
- ・集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する。